

2月定例会常任委員会 の審査 平成31年度各会計予算等の審査

文教民生委員会

【委員長】鈴木幸司 【副委員長】下田良秀
【委員】小山忠之、川窪吉男、石橋広明、高橋正典、萩野基行、笠井浩

当初予算5件、条例6件

●大きく変わる放課後児童クラブの運営基本方針の実現に当たっては、当事者の意見の反映を

問 放課後児童クラブ運営基本方針を策定することですが、新たな運営主体への移行をどのように進めますか。

答 関係者へのアンケートや富士市放課後児童クラブ連絡協議会等の意見を踏まえ、30年度は放課後児童クラブあり方懇話会で、基本方針策定に向けて協議を行ってきました。複数の運営委員会から新たな運営主体へ早期に移行したいとの声もある中で、新年度中には新たな運営主体となる民間事業者を選定し、翌年度から5年をかけて移行を進めていく考えです。

要望 運営基本方針を実現するための、詳細な運営基準の策定に当たっては、支援員や保護者の意見の反映に努めてください。

●生活保護世帯数の状況と新たに支給する進学準備給付金の内容は

問 生活保護扶助費を前年度予算と比べ1億1993万円余増額していますが、本市の生活保護世帯数の状況はいかがですか。また、新たに計上された進学準備給付金とはどのような事業ですか。

答 生活保護世帯数は、高齢化による増加はあるものの、雇用環境の改善もあり、増加数は29年度が約100世帯、30年度は約60世帯と、小幅な増加となっています。

また、進学準備給付金は、学歴による貧困の連鎖を断ち切るため、生活保護世帯の子どもに対し、大学等進学の際に新生活準備費用として、自宅通学者には10万円、自宅外通学者には30万円を一時金として支給する事業です。

●スクールソーシャルワーカーの増員により期待される効果は

問 スクールソーシャルワーカーを1人増員し、4人にするとのことですが、どのような効果が期待されますか。

答 近年、さまざまな問題解決のため、福祉を初めとした関係機関との調整を行うスクールソーシャルワーカーの必要性が高まっています。増員することにより、重大な案件を担当するワーカーと、校区を担当するワーカーに役割分担することができ、充実した支援につながると期待しています。

●青少年体験交流事業（キズナ無限∞の島）の改善点は

問 青少年体験交流事業は、29年度決算富士市議会事業評価において、今後の方向性を改善して継続としましたが、前年度予算に比べ64万円余減額した理由は何ですか。

答 主な理由として、研修生の健康面での影響を考慮し、帰路の車中泊をなくしたため、5泊6日から4泊5日に短縮したことや、募集人数を136人から112人に減らしたことが挙げられます。



昨年の青少年体験交流事業（気仙沼市大島）

●くすの木学園の指定管理者制度への移行に向けて

問 くすの木学園は、1年後に指定管理者制度に移行することです。定員についても指定管理者の裁量に委ねることになりますが、学園の収容能力と整合させることができますか。

答 指定管理の初年度は現在と同じ定員50人で運営を行い、その後、指定管理者が定員等を変更しようとする際は、市と十分協議することで整合を図っていきたいと考えています。

総務市民委員会

【委員長】藤田哲哉 【副委員長】石川計臣
【委員】松本貞彦、前島貞一、小池智明、笹川朝子、村松金祐、杉山諭

当初予算7件、条例11件、その他2件

●北斎サミット in 富士の開催経緯は

問 北斎サミット in 富士実行委員会負担金を180万円計上していますが、どのような経緯で開催するのですか。

答 中野にある法蔵寺の檀家の方々が、法蔵寺の裏山から見る富士山と富嶽三十六景の1つである「駿州片倉茶園ノ不二」が、うり二つであると発見したことを契機に、北斎の足跡をたどる会を発足し活動を始めました。

また、海外でも有名な富士山や葛飾北斎が、インパウンド面において大きな期待が持てるため、昨年、東京で北斎サミットジャパン委員会が立ち上がりました。

この2つの組織をマッチングしたことで、第1回目の北斎サミットを本年10月に本市で開催することになりました。

要望 イベントだけでは一過性で終わってしまうことが懸念されるので、後につながる方策を考えてください。

●入管難民法の改正に伴う外国人労働者増加への対応は

問 国際友好交流費で在住外国人支援を行うとのことですが、出入国管理及び難民認定法が改正され、今後、本市でも外国人労働者の増加が予想される中、どのように支援していきますか。

答 市民の多様性の1つとして外国人を受け入れ、本市での生活に必要な情報を提供したり、日本語講座を行うなど、日常生活を支援するという視点で対応していきます。

要望 人材不足のため、外国人労働者を受け入れたいが、言語や生活習慣等の違いにより、受け入れ時の対応に不安を感じる中小企業が多いと考えるので、今後、市として受け入れ企業への支援等もあわせて検討してください。

●PCB（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物処理計画は

問 施設保全事業費にPCB廃棄物運搬処分を計上していますが、どこで処分し、処分料はどのくらいですか。また、今後のPCBの処分計画はどのようになっていますか。

答 PCBは昭和47年に製造中止になり、PCB特措法により平成38年度末までに処分するよう定められています。処分場は全国に5カ所のみで、今回の処分は北九州PCB処分事業所で行います。処分料は、1キログラム当たり2万8000円で、新年度の処分費は、運搬費を含め1億4649万8000円を計上しています。また、処分計画としては、31年度は高濃度PCBを5005キログラム、32年度は約5020キログラム、33年度は低濃度PCBの処分をそれぞれ予定しています。



現在、市が保管しているPCB廃棄物

●常葉大学富士キャンパス跡地等の土地貸付料の減額に見合うメリットは

問 常葉大学富士キャンパス跡地及び運動場跡地を減額して貸し付けるとのことですが、減額幅がかなり大きいと考えます。市はそれに見合ったメリットは得られますか。

答 事業者からは、スポーツウェルネス交流ゾーンとしての魅力を高めるスポーツ観光施設や、スポーツ選手を育成するスポーツアカデミーの設置を初めとして、近隣の耕作放棄地の活用やレストランで地元産品を使用するなど、幅広い事業構想の提案があり、本市にとって大きなメリットをもたらすと考えています。

特集

2月定例会

常任委員会の審査

代表質問・一般質問

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ

特集

2月定例会

常任委員会の審査

代表質問・一般質問

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ